

(件名) ドルフィンポート跡地の活用について(2項)

(陳情の趣旨)

私は、ドルフィンポート前のマンションを16年前から所有しております。

こちらには、現在、30世帯52名の方が賃貸契約で住まわれており、私自身もこのマンションに住んでおります。ご契約されている方々は、お部屋から見える桜島の景観を一番の理由に挙げ、ご入居されています。ドルフィンポートやウォーターフロントパークで行われる、花火大会やコンサート、各イベント等の騒音に悩まされることもあります。それでも、県民の皆さんが楽しく活用する場所として、また、雄大な桜島を眺めながら癒しや集いの場所として、最適だとも思っております。

このたび、延床面積約3万㎡、高さ25~30mにもなる4階建ての巨大かつ多層構造の体育館が、私たちの眼前に建設されようとしています。

こういった場所に体育館を建てる必要があるのでしょうか？どうしても納得がいかないのです。せっかくの鹿児島市内に残された素晴らしい景観。フルに活用し、鹿児島島の観光の発展に利用してほしいと切に願っております。

県の調べでは、ドルフィンポート跡地周辺50mの住戸数は72戸となっておりますが、私の知る限りでは近隣のビルに89世帯92名の方が賃貸契約をされており、周辺には介護施設やゲストハウス等もあります。我が家近隣の賃貸マンションのオーナーからも、眺望が阻害されることでの資産評価に対して懸念が広がっています。しかしながら、周辺住民への説明会がこれまで一度もなされておられません。

つきましては、ドルフィンポート跡地の新たな活用と体育館建設の計画について再度ご検討くださいますよう陳情いたします。

記

1. 体育館の敷地選定について

検討委員会でドルフィンポート跡地が最も評価が高かったとありますが、そもその配点基準に疑問を感じます。環境、近隣住民、眺望への影響等の評価軸が正当に評価されているのでしょうか。もう一度、ドルフィンポートをどのように活用したら鹿児島にとってベストか、近隣住民の代表者を入れて、検討委員会をやり直してください。

※ 周辺50mの住戸数はドルフィンポート跡地は72戸、住吉は20戸であるのに、評価点は同じ2点となっております。

2. 周辺住民への説明について

ドルフィンポート跡地周辺は眺望重視の賃貸がほとんどであるため、マンションのオーナーからは資産評価への懸念が広がっています。にもかかわらず、周辺住民への説明会がこれまで一度もなされておられません。周辺住民を集めた説明会、あるいは意見交換会を開いてください。

3. ドルフィンポート跡地の活用について

世界的に見ても、素晴らしい景観を持った希少な場所ですので、それに見合った施設を作るべきだと考えます。例えば、桜島を眺めながら食事ができるレストランや、無料で入場できて作品も購入できるようなギャラリー、港湾の立地を生かした錦江湾クルーズ、子どもたちが遊べる遊具のある広場など。観光地として最高のポテンシャルを持っていますので、それを活かすような施設の設置をご検討ください。

以上